

# 認知症高齢者の行方不明時等の 見守り・搜索システムについて

株式会社 日本総合研究所

令和元年 老人保健健康増進等事業

『認知症高齢者の行方不明時における広域での支援体制構築に関する調査研究事業』

# はじめに

## 本冊子作成の背景

- 高齢化の進展により認知症の方の数は年々増加しており、我が国における、認知症の人の将来推計に関する研究によれば、2025年には認知症の方の数が約700万人前後になると推計されています。
- 認知症による行方不明者も増加しており、警察庁によると、認知症に係る行方不明者の届出受理数は、2018年には年間1万6,000人を超えています。
- 認知症の方が安心して暮らせるまちづくりに向けては、認知症に係る行方不明の方をできるだけ早期かつ安全に発見・保護できる仕組み作りが重要となっています。このような背景から、自治体としても、万一、認知症の方が行方不明になった際の早期発見・保護に資する民間サービスを活用することが有効であると考えられます。

## 本冊子の内容・構成

本冊子は、公開情報よりリストアップした民間事業者の提供する見守り・検索サービスのうち、掲載の了承を得られたものについて一覧化するとともに、各サービス導入時のポイントや、実際の自治体の導入事例等を紹介するものです。

### 【本冊子の構成】

- I. 見守り・検索サービスにおける各機能の特徴・導入時の留意点
  - II. 自治体における見守り・検索システムの活用事例
  - III. 民間事業者の提供する見守り・検索サービス一覧
- 巻末：民間事業者の提供する各サービスのご紹介

## 本冊子の活用の仕方・活用にあたっての留意点

- 民間の見守り・検索サービスの活用を推進するにあたっては自治体単位で特定のサービスを導入し、利用者に紹介するやり方もあれば、利用者の方が選択したサービスに対し自治体が助成するやり方もあります。
- 民間事業者の提供する見守り・検索サービスは千差万別であり、自治体単位でサービスを導入する際は、**それぞれのサービスの特徴を把握し、地域の課題にフィットしたサービスを導入していくことが重要**です。中には、居住地の市町村を超えて行方不明となった場合でも、市町村をまたいで検索や身元確認が可能なサービスもあり、広域での探索という視点においては、こうしたサービスを活用することも有効であると考えられます。
- 現在民間の見守り・検索サービスの活用推進に向けて検討を行っている自治体は、本冊子で整理されている各サービス・機能の特徴や、自治体での導入事例等を踏まえ、各地域の課題に合致した支援のあり方やサービスを検討して頂ければ幸いです。
- また、すでに各種サービスの導入や助成を行っている自治体でも、異なる特徴をもつサービスを複数導入することで、より効果的な体制づくりに繋がる可能性もあります。自治体導入事例等を参照頂き、今後の検討の一助として頂ければと考えております。
- なお、見守り・検索サービスに係るセンサー、バッテリー、通信技術は日進月歩で進歩しており、今後もその進化は続いていくと考えられます。本冊子で取り上げたサービスは令和元年時点のものであり、今後、新たな技術を活用した新しいサービスが出てくる可能性があります。また、掲載しているサービスの機能・仕様・価格等はすべて、令和元年時点のものであり、導入を検討する際は、ホームページ等で最新の情報を参照してください。

# **I . 見守り・搜索サービスにおける各機能の特徴・ 導入時の留意点**

## 検索・見守りサービスの3つの機能

- 民間事業者の提供する認知症に係る検索・見守りサービスの機能は、行方不明者の位置や移動履歴を把握する「**位置把握機能**」、身元不明の方の身元や緊急連絡先等を把握する「**身元確認機能**」、地域の協力機関や協力者に検索協力を依頼する「**検索依頼機能**」の3つに分類できる。
- どれか一つの機能に特化したサービスもあれば、複数の機能を持つサービスもある。  
(※参考：P13. 民間事業者の提供する見守り・検索サービス一覧)

位置把握機能

身元確認機能

検索依頼機能

## 位置把握機能を持つサービスについて

- 位置把握機能を持つサービスは、①利用者のもつ端末が発する電波を受信することで位置把握を行うタイプと、②GPSによって位置把握を行うタイプの2つに大別できる。
- いずれのタイプも、検索には、利用者が端末等を所持していることが必要。

①	利用者のもつ端末が発する電波を受信することで位置把握を行うタイプ	利用者の携帯する小型端末（発信機）が専用アプリをインストールしたスマートフォンや固定受信機とすれ違つと、Bluetooth通信等により受信機の位置情報がサーバーへ送信され、位置や移動経路等が分かる
②	GPSによって位置把握を行うタイプ	携帯型のGPS端末により、現在位置や移動経路等が分かる

- 各タイプの特徴と、導入時に留意すべき点は以下の通り。

### ①利用者のもつ端末が発する電波を受信することで位置把握を行うタイプ

#### ✓ 特徴

- 受信機を介して利用者の携帯する端末の位置情報や移動経路が把握できる。（ただし、位置情報の精度は、受信機の数等に依存する。）
- 端末は比較的小型・軽量で、バッテリーが年単位でもつため、認知症の方にとって持ち運びやすく、管理しやすい。
- サービスによっては、端末の位置情報が蓄積でき、日々の行動パターンが把握できるため、家族の安心や行方不明時の居場所特定につながる可能性がある。
- サポーター養成講座等の場等を通じ、地域住民に「専用アプリのインストール」という認知症の方を地域で支えていくための具体的なアクションを促すことが啓発に繋がる。

#### ✓ 導入時の留意点

- 位置情報の精度は、レシーバーとなる専用アプリのダウンロード者数（地域の協力者数）や、固定受信機の台数に依存する。位置情報の精度向上のためには、協力者や固定受信機を増やす取組が必要。
- 端末を家などに忘れてしまった場合は位置が把握できない。



## ②GPSによって位置把握を行うタイプ

### ✓ 特徴

- 専用アプリのダウンロード者や、固定受信機等を必要とせず、利用者の携帯する端末で現在位置や移動経路等を把握できる。

### ✓ 導入時の留意点

- バッテリーの日単位・週単位での充電が必要であり、①のタイプの端末と比較して大型で重量があるものが多いため、認知症の方にとって管理や持ち運びが難しいことがある。
- 人込みや地下などに居る場合は、位置情報が取得できない場合がある。
- 端末を家などに忘れてしまった場合は位置が把握できない。

## 身元確認機能を持つサービスについて

- 身元確認機能を持つサービスは、認知症の方が緊急連絡先（家族・自治体）や個人ID等の情報を読み取ることのできるキーホルダーやシールを身に着けることで、警察や一般の方が身元不明者として保護した際に、スムーズに身元を特定することができる。

### ✓ 特徴

- 警察等が身元不明者を発見・保護した際、キーホルダーやシールを身に付けていれば、身元確認やご家族への引き渡しができる。
- サービスによっては、QRコード等を携帯電話やスマートフォンで読み込むと、発見者が家族等と直接連絡を取ることができ、位置情報の共有や、早期の引き渡しを行うことができる。
- キーホルダーやシールは、靴やかばんに付けることで、自然に持ち運びが可能。

### ✓ 導入時の留意点

- キーホルダーやシールをつけている鞆や靴と別のものを身につけて外出してしまった場合などは、身元確認が行えない。
- 導入にあたっては、認知症の方の尊厳に対する配慮が必要。
- 認知症の方がキーホルダーやシールの形で身に付けている緊急連絡先等が悪用されないよう、配慮されているかどうか確認する必要がある。

## 検索依頼機能を持つサービスについて

- 検索依頼機能を持つサービスは、(ア) アプリ等を通じて検索依頼を行うタイプと、(イ) メールやFAXの一斉配信により検索依頼を行うタイプの2つに大別できる。

(ア)	アプリ等を通じて検索依頼を行うタイプ	専用アプリをダウンロードした一般の検索協力者に、アプリを通じてプッシュ通知で検索の依頼と行方不明者の情報共有ができる
(イ)	メールやFAXの一斉配信により検索依頼を行うタイプ	地域の協力団体・公共機関、協力者等の登録先へ、メールやFAXの一斉配信により検索の依頼と行方不明者の情報共有ができる

- 各タイプの特徴と、導入時に留意すべき点は以下の通り。

### (ア) アプリ等を通じて検索依頼を行うタイプ

#### ✓ 特徴

- 警察以外の一般の協力者に、広く検索に協力してもらえる
- サービスによっては捜索中や発見後、アプリを通じて直接家族等と連絡をとり、位置情報の共有や、早期の引き渡しを行うことができる。また、利用者が専用のキーホルダー等を携帯することにより、身元確認がスムーズに行えるものもある。
- サポーター養成講座等の場等を通じ、地域住民に「専用アプリのインストール」という認知症の方を地域で支えていくための具体的なアクションを促すことが、啓発に繋がる。

#### ✓ 導入時の留意点

- 検索範囲や検索の精度は、専用アプリのダウンロード者（協力者）の数や場所に依存する。
- 発見後、行方不明者本人であることを確認するためには、発見者が本人の写真を撮影し、アプリを通して家族に共有するなど何らかの方法で確認をとることが必要。
- ご家族がスマホアプリ等を利用できない場合への配慮が必要。
- アプリを通して発信される緊急連絡先等が悪用される危険性が無いかや、家族・本人の個人情報保護されるかについて、サービス導入時に確認する必要がある。

### (イ) メールやFAXの一斉配信により検索依頼を行うタイプ

#### ✓ 特徴

- SOSネットワークにおける連携機関や、地域の協力者等へ行方不明者の情報共有を行う際の行政の事務負担が軽減できる。

#### ✓ 導入時の留意点

- 地域の協力者等が行方不明者を発見した場合、基本的に家族等へ直接連絡することはできず、警察等を通じて情報提供を行うことになる。

## サービス導入にあたってのポイント

- 民間事業者の提供する認知症に係る検索・見守りサービスについては、タイプごとに様々な強みがある。
- 中には市町村を超えて行方不明となった場合にも、検索や身元特定が可能なものや、サービスの導入が認知症に関する地域の啓発につながるものもある。
- ただし、**単一のサービスで実現できることには限界があることから、異なるタイプのサービスを組み合わせ、重層的に支援することで、より早期での発見・保護や、より広域での見守りにつなげていくことが考えられる。**（※参考：P8～. 自治体における見守り・検索システムの活用事例）

## 各タイプの特徴・導入時の留意点のまとめ

- 民間事業者の提供する認知症に係る検索・見守りサービスについて、各タイプの特徴・導入時の留意点は、下記の通り整理できる。

分類		特徴	導入時の留意点
位置把握機能を持つサービス	①利用者のもつ端末が発する電波を受信することで位置把握を行うタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信機を介して利用者の携帯する端末の位置が把握できる。</li> <li>端末は比較的小型・軽量で、持ち運びや管理が容易。</li> <li>専用アプリダウンロードの呼びかけが啓発につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>位置情報の精度は、レーザーとなる専用アプリのダウンロード者数や、固定受信機の台数に依存する。</li> <li>端末を家などに忘れてしまった場合は位置が把握できない。</li> </ul>
	②GPSによって位置把握を行うタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定受信機等を必要とせず、利用者の携帯する端末で現在位置を把握できる。</li> <li>市町村を超えて行方不明となった場合も検索可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーのこまめな充電など、認知症の方にとって管理や持ち運びが難しいことがある。</li> <li>端末を家などに忘れてしまった場合は位置が把握できない。</li> </ul>
身元確認機能を持つサービス		<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の方がキーホルダー等を身に着けることで、スムーズな身元特定が可能。</li> <li>市町村を超えて保護された場合も身元を特定可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーホルダー等を身に着けずに外出してしまった場合などは、身元確認が行えない。</li> <li>導入にあたっては、認知症の方の尊厳に対しての配慮が必要。</li> </ul>
検索依頼機能を持つサービス	(ア) アプリ等を通じて検索依頼を行うタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察以外の一般の協力者に、広く検索に協力してもらえる。</li> <li>専用アプリダウンロードの呼びかけが啓発につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索範囲や検索の精度は、アプリのダウンロード者（協力者）の数や場所に依存する。</li> </ul>
	(イ) メールやFAXの一斉配信により検索依頼を行うタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>SOSネットワークにおける連携機関や、地域の協力者等へ行方不明者の情報共有を行う際の行政の事務負担が軽減できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の協力者等が行方不明者を発見した場合、基本的に家族等へ直接連絡することはできず、警察等を通じて情報提供を行うことになる。</li> </ul>

## **Ⅱ．自治体における見守り・検索システムの活用事例**

## 【事例1】 K市

## 見守り・搜索サービス活用状況

A社のGPS端末および、B社の小型端末（高齢者のもつ端末が発する電波を受信することで位置把握を行うタイプ）の利用に対し、助成を行っている。

B社の小型端末は、高齢者の所持する端末の電波を、専用アプリをダウンロードしたスマートフォンや、街中に設置された固定受信機が受信することにより、位置情報や移動経路を把握できるサービスである。

導入サービス	① A社 GPS端末	② B社 小型端末
導入年度	2016年	2016年～ 実証事業参加(3年間) 2019年～ 導入
助成内容 ／利用者負担	<助成内容> 加入料金、専用充電器などの初期費用 <利用者負担> 月額レンタル料…500円 その他位置情報提供料など	<助成内容> 家庭に設置する固定受信機の利用料 <利用者負担> 月額レンタル料… 300円
助成対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内在住の概ね65歳以上の人のうち「行方不明の危険性」が高いと判断される人</li> <li>・ 市で実施している事前登録事業に登録している人</li> <li>・ 本人及び介護者の介護保険料等滞納がない人 のいずれも満たす方</li> </ul>	
財源	地域支援事業の任意事業 家族介護支援事業	

## 見守り・搜索サービス導入経緯

- ✓ A社のGPSについては、居場所の特定につながりやすいことをメリットに感じ、2016年から助成を開始した。
  - ・ 一方で、GPS端末は充電の手間や大きさから、持ち歩きや管理が難しい点や、高齢者夫婦の場合、GPS検索操作ができずに時間がたち、市への搜索依頼が遅れるケースが時折起こってしまう点が課題であった。
- ✓ こうした課題を補い、地域での見守り体制構築に資するサービスとして、携帯型の小型端末（発信機）を貸与し、専用アプリをインストールしたスマートフォンや固定受信機によって端末の位置や移動経路等を把握するB社のサービスに関心を持ち、実証事業へ参加した。
  - ・ B社サービスは、端末が小型・軽量であり、バッテリーが年単位でもつため、比較的所持しやすい。GPS端末と併用することも可能だと考え、実証事業終了後も継続導入を決めた。

## 見守り・搜索サービス導入のメリット

- ✓ GPS端末や小型端末を所持していることで、位置情報が分かり早期発見につながったケースは多い。
- ✓ B社サービスを導入したことで、サポーター養成講座等の場で、認知症の方を地域で支えていくための具体的なアクションの一つとして、「専用アプリのダウンロード」を呼びかけることができるようになった。地域で見守る風土や体制づくりの推進につながっていると感じている。
- ✓ B社サービスによる位置情報把握の精度は、現状そこまで高くないが、居場所特定に強みのあるA社GPSサービスと、地域を巻き込んだ見守り体制づくりに強みのあるB社サービスを並行して導入することにより、取組全体の効果を上げていきたいと考えている。

## 今後の課題

- ✓ B社サービスについて、今後固定受信機や専用アプリダウンロード者数の増加に努めていくことで、位置情報の精度を上げる必要がある。

## 自治体基礎情報

人口	5万5千人程度
高齢者数 (高齢化率)	1万3千人程度 (約23%)

## 【事例2】I市

## 見守り・捜索サービス活用状況

C社のGPS端末および、D社の身元確認支援サービスに対して助成を行っている。  
D社の身元確認支援サービスは、認知症の方が緊急連絡先（市担当の電話番号）と個人IDの情報が  
入ったQRコードが印字されたシールを身に着けることで、警察等が身元不明の方を保護した際の身元確認  
が迅速に行えるサービスである。

導入サービス	① C社 GPS端末	② D社 身元確認支援サービス
導入年度	—	2016年
助成内容 ／利用者負担	<助成内容> 端末の貸与 <利用者負担> 月額レンタル料…0円～ 2,255円	<助成内容> (1)QRコードが印字されたシール、(2)QRコードが印字 されたキーホルダー、(3)靴のかかどに貼り付ける市町村 名入りのステッカーの、3点セットで交付 <利用者負担> なし
助成対象	市内に住所を有する65歳以上の在宅の方のうち、認知症等により行方不明になる 可能性のある方 など	
財源	地域支援事業の任意事業 家族介護支援事業	

## 見守り・捜索サービス導入経緯

- ✓ GPS端末への助成を実施しているが、端末自体を持ち歩かない、端末が壊れてしまうといった管理の問題  
が大きく、貸与件数が伸び悩んでいた。
- ✓ 「常時身に付けていただけるサービス」の導入が必要であると考え、足や指の爪などにも貼り付けられるQR  
コードを用いたD社の身元確認支援サービスを追加で導入した。

## 運用のポイント

- ✓ 中には爪にシールを貼ることに抵抗のある方や、剥がしてしまう方もいることから、I市では、(1)QRコードが  
印字されたシール、(2)QRコードが印字されたキーホルダー、(3)靴のかかどに貼り付ける市町村名入り  
のステッカーの、3点セットで交付を行っている。万が一の際に、どれか一つが機能すればよい、と考えている。

## 見守り・捜索サービス導入のメリット

- ✓ 常時身に着けやすい形態であり、「行方不明時に持っていないかもしれない」という可能性が少ない。
- ✓ 近隣の警察署にも、市役所からシール等を交付した方のリストを渡している。警察署で身元不明者を保  
護した際、QRコードを身に着けていれば、個人IDからすぐに身元が判明することから、市を通さず24時間  
警察署でも対応ができる。
- ✓ また、QRコードには緊急連絡先として市の電話番号を入れているため、市外・都道府県外の警察署で保  
護された場合でも、QRコードを読み取ればI市の方であると判る。広域での見守りにも効果的である。

## 今後の課題

- ✓ 在宅高齢者やその家族への周知をさらに進めて  
いきたい。
- ✓ 現状当事者や家族に対しては、包括等から本  
事業を紹介してもらえるよう、市から働きかけてい  
る。また、警察署から、まだ本事業に登録してい  
ない方に、紹介した事例もある。

## 自治体基礎情報

人口	15万人程度
高齢者数 (高齢化率)	4万人程度 (約29%)

## 【事例3】 H市

### 見守り・検索サービス活用状況

E社の検索依頼支援サービスに対して助成を行っている。

E社の検索依頼支援サービスは、ステッカーとアプリによる見守りシステムである。検索依頼者がアプリ上で検索依頼ボタンを押すと、アプリをダウンロードしている周辺地域の検索協力者にプッシュ通知にて検索依頼と検索者情報を送ることができる。発見後は、行方不明者が身に着けたステッカーに記載されている発見時の連絡先（フリーダイヤル）に電話し、個人ID番号を入力すると直接検索依頼者に電話することが可能。

導入年度	2017年
助成内容 ／利用者負担	<p>&lt;助成内容&gt; ステッカー(48枚)購入費用を補助</p> <p>&lt;利用者負担&gt; 年間利用料(連絡先転送サーバ利用料)…3,600円</p>
助成対象	在宅（市内在住）で、認知症などの理由により行方不明になるおそれのある方、その他の理由により必要と認められる方
財源	特別会計

### 見守り・検索サービス導入経緯

- ✓ 当初は別サービスの導入を検討していたが、E社のサービスは、費用が安価である点、発見者(協力者)が迅速に家族等に連絡できる点、行政が個人情報を持たずに家族等から協力者に直接依頼がかけられるため個人情報保護の観点で優れている点、発見者が直接家族に連絡することで行政の事務負担が少ない点、等が優れていると考え、導入を決定した。

### 運用のポイント

- ✓ 市の広報誌やHP、市内の大学で開講している認知症サポーター講座、健康フェスタ・食育フェスタなどのイベント、等で市民に対してアプリのダウンロードを呼びかけている。
- ✓ アプリを用いた検索依頼は、家族が直接行う。そのため、市域や時間に関係なく、迅速に検索依頼をかけることができる。

### 見守り・検索サービス導入のメリット

- ✓ アプリ・ステッカーは地域を選ばずに効果を発揮できる。市役所がかつてから実施している防災無線は、他自治体との境界付近には放送しづらいというデメリットがある。
- ✓ アプリのダウンロードを通して、認知症や行方不明者に対する住民の意識向上・地域での見守りの目の増加に繋がっている。大学で実施している認知症サポーター講座で当事業に関するチラシを配布し、アプリのダウンロードを呼びかけており、若者の協力者も多い。

### 今後の課題

- ✓ 市民への普及・啓発は引き続き課題である。
- ✓ 行方不明者の家族等が直接協力者に検索を依頼する仕組みのため、市役所では、実際に保護に繋がったか否かが確認できず、実態的な効果が判断できない。

### 自治体基礎情報

人口	56万人程度
高齢者数 (高齢化率)	15万人程度 (約27%)

## 【参考】

### 利用者がサービス・事業者を選択し、自治体が助成を行っている事例について

- ✓ 特にGPSによる位置把握サービスについては、自治体単位で同一のサービスを導入する必要性が少ないことから、利用者が自由にサービス・事業者を選択し、その利用に対して助成を行っている自治体もある。
- ✓ ご家族や認知症の方本人が使いやすいサービスを選べるメリットがある。

#### M市の事例

- M市では、2017年よりGPS端末への助成を開始。
- 利用者の使いやすい端末を選択して欲しい、という考えから、事業者を限定せず、初期費用の一部を助成している。
- 一方で、利用者の方から、「サービスを紹介してほしい」という要望が多かったことから、2018年度より、公募で協力事業者を募っている。どの事業者のサービスでも助成可能としつつも、利用者側からサービス紹介の要請があった際には、市から協力事業者のサービスを紹介している。

導入年度	2017年
助成内容	<助成内容> 機器購入費など初期費用の3/4を助成（上限2万円）
助成対象	<ul style="list-style-type: none"><li>• M市に住民票があること（入院、施設入所の方は対象外）</li><li>• 要支援・要介護認定を受けていること</li><li>• 認知症による、行方不明の可能性があると のいずれも満たす方</li></ul>
財源	地域支援事業の任意事業 家族介護支援事業

### **Ⅲ. 民間事業者の提供する見守り・検索サービス一覧**

# 認知症高齢者の行方不明時の検索システム一覧 ※50音順

#	事業者名	サービス名	機能（注）		
			位置把握	身元確認	検索協力依頼
1	アーバン警備保障株式会社	iTSUMO	②GPS	－	－
2	株式会社アルカディア	Seniorcare	－	－	(イ)メール等 一斉配信
3	株式会社オレンジリンクス	爪Qシール®	－	QRコード	－
4	株式会社介護用品愛ショップ	魔法の靴	②GPS	－	－
5	加藤電機株式会社	SANフラワー見守りサービス	①	－	(ア)アプリ
6	株式会社クライム	高齢者等身元特定支援サービス	－	生体認証	－
7	株式会社システムインナカゴミ	見守りシューズ	②GPS	－	－
8	株式会社昭文社	おかえりQR	※発見者から メール等で連絡	QRコード	－
9	ジョージ・アンド・ショーン株式会社	bibble	①Bluetooth	－	－
10	社団法人セーフティネットリンケージ	検索支援アプリ・緊急連絡ステッカー	※発見者から 電話等で連絡	ステッカー	(ア)アプリ
11	セコム株式会社	ココセコム	②GPS	－	－
12	総合警備保障株式会社（ALSOK）	みまもりタグ	①Bluetooth	－	－
13	ソフトバンク株式会社	オレンジセーフティネット	※発見者から アプリを通じて連絡	－	(ア)アプリ
14	東邦ホールディングス株式会社	どこシル伝言板	※発見者から専用 伝言板で連絡	QRコード	－
15	株式会社トレイル	うららかGPSウォーク	②GPS	－	－
16	株式会社パイプドビッツ	徘徊高齢者検索メール配信システム	－	－	(イ)メール等 一斉配信
17	株式会社ビビッド・ジャパン	お守りGPS	②GPS	－	－
18	株式会社プリリアントスター	きらめきシューズ	②GPS	－	－
19	株式会社ミマモルメ	ミマモルメGPSサービス	②GPS	－	(ア)アプリ
20	株式会社やさしい手	いまどちゃん	②GPS	－	－
21	株式会社リアルタイムシステムズ	CloudGPS	②GPS	－	－
22	株式会社HSB-confiance	ミマモルGPS	②GPS	－	－
23	IoTBASE株式会社	IoTCanvas	②GPS	－	※システムのIDを 共有して連絡
24	MAMORIO株式会社	Me-MAMORIO	①Bluetooth	－	－
25	株式会社NTTドコモ	かんたん位置情報サービス	②GPS	－	－
26	株式会社otta	otta	①Bluetooth	－	－

（注）機能に関する表記は、資料 7 頁の一覧表に対応。

## サービス概要

靴やベルト・自転車のサドルなどに装着できるGPS端末。高齢者等がGPS端末を携帯することにより、地図上で現在位置等を確認できる。

行方不明事案発生時に、あらかじめ受信登録した地域の公共機関や協力団体等に対し、捜索情報をメール等で配信するASPサービス。

連絡先電話番号、個人ID等の情報が含まれたQRコードを印字したシール。手の爪等に貼ることで、警察等における身元確認を円滑に行える。

GPS端末が埋め込まれた靴の販売や、履き慣れた靴へのGPS端末の取り付け等を実施。家族等は地図上で現在位置等を確認できる。

市内に設置されたSANアンテナにより、高齢者等の所持する小型の発信機（SANタグ）の位置情報を把握するサービス。

警察等で身元不明者を保護した際に事前に登録した手のひらの静脈データと突合することで身元特定を支援するサービス。（※実証実験中）

GPS端末を内蔵したシューズ。GPS機能により、家族等が地図上で現在位置等を確認できる。

QRコードを印字したシール。発見者がQRコードを読み取ると、家族に直接電話やメールが可能になり、位置情報等を連絡できる。

アプリをインストールした地域住民のスマートフォン等が高齢者等の所持する端末から電波を受信し、受信機の位置情報を家族等が把握できる。

個人IDと発見時の連絡先が記載されたステッカーと、捜索協力者にプッシュ通知にて捜索依頼が可能なアプリによる見守りシステム。

GPS端末により、認知症方の居場所を確認できる位置情報確認サービス。オプションとして緊急駆けつけサービス等を利用可能。

アプリをインストールした地域住民のスマートフォン等が高齢者等の所持する端末から電波を受信し、受信機の位置情報を家族等が把握できる。

家族等が、アプリを通して全国の協力隊に捜索依頼ができるサービス。アプリのグループトーク機能により、発見者と家族等が直接連絡できる。

QRコードを印字したシール。発見者がQRコードを読み取ると、発見者と家族等が専用伝言板を介して直接連絡が取れるサービス。

多種のGPSを内蔵できる収納スペースのあるシューズ。GPS機能により、家族等が地図上で現在位置等を確認できる。

行方不明発生時・発見時に、あらかじめ登録した地域の協力サポーター・事業者に対して行方不明者の情報をメールで配信するクラウドサービス。

NTTドコモの小型のGPS端末をお守り袋に収納。GPS機能により、家族等が地図上で現在位置等を確認できる。

GPS端末を内蔵したシューズ。GPS機能により、家族等が地図上で現在位置等を確認できる。

GPS端末により、認知症方の居場所を確認できる位置情報確認サービス。

靴にも収納可能な小型のGPS端末をレンタルするサービス。GPS機能により、家族等が地図上で現在位置等を確認できる。

GPSにより家族等がアプリ上で現在位置を確認できるサービス。現在の位置情報だけでなく、過去3ヶ月分の移動履歴を確認できる。

NTTドコモ社が提供するGPS端末をネット上でレンタル提供するサービス。GPS機能により、家族等が地図上で現在位置等を確認できる。

LPWA回線を用いて、GPS端末・温度計・速度計など多様かつ複数のセンサーの稼働状況を統合的に管理できるクラウドサービス。

アプリをインストールした地域住民のスマートフォン等が高齢者等の所持する端末から電波を受信し、受信機の位置情報を家族等が把握できる。

GPS端末により、認知症の方の居場所を確認できる位置情報確認クラウドサービスを、法人に対してパッケージで提供。

アプリをインストールした地域住民のスマートフォン等が高齢者等の所持する端末から電波を受信し、受信機の位置情報を家族等が把握できる。

## **巻末：民間事業者の提供する各サービスのご紹介**

# No.1 アーバン警備保障株式会社 「iTSUMO(いつも)」

## システム概要

事業者名	アーバン警備保障株式会社（アーバンテック）		
名称	iTSUMO（いつも）	URL	<a href="https://itsumono-gps.jp/index.html">https://itsumono-gps.jp/index.html</a>
概要	専用カバーを利用して普段履きの靴やベルト・自転車のサドルなどに装着できるGPS端末。 GPS端末を携帯することにより、地図上で位置や移動経路を確認できる。 その他、外出時に靴をはいた振動を感知して通知する機能や、エリアの指定範囲外へiTSUMOが持ち出された際に通知する機能等がある。また、バッテリー残量をメールで通知することも可能。 介護保険制度「福祉用具貸与」の徘徊感知器として登録されている。		
仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>縦45.5mm×横38.5mm×厚さ11.85mm</li><li>重さ30g</li><li>材質 プラスチック</li><li>連続作動 400時間（平均実働3～4日程度）</li><li>範囲はNTTドコモ3G回線の届くエリア（国内）</li></ul>	料金	初期費用 0円 ※介護保険適用の場合
			運用費用 約1,300円/月 ※介護保険適用の場合
			その他 オプション有（専用カバーや予備充電器等の付属品）
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"><li>・GPSとドコモ3G回線を利用し、地図上で位置を把握することができる。</li><li>・その他、外出時に靴を履いた振動を感知して通知する機能や、エリアの指定範囲外へiTSUMOが持ち出された際に通知する機能、遠隔操作により、iTSUMO本体からブザー音を発音することで検索をアシストする機能等がある。</li></ul>	—	—
範囲	NTTドコモ3G回線の届くエリア（国内）	—	—
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

GPS端末



専用カバー



iTSUMOキャラクター



## 自治体導入実績

### 【事例①】奈良県橿原市

- ✓ 市内の行方不明になる可能性のある方に対しGPS端末の貸出を実施。（有料：1か月1,300円）
- ✓ 一般施策として実施されており、介護保険認定のない方でも利用可能。

### 【事例②】奈良県上牧町

- ✓ 町内の、介護保険でiTSUMOを利用される方に対して自己負担分を補助。
- ✓ iTSUMO利用者が別途行政へ申請することで補助が受けられる。

# No. 2 株式会社アルカディア 「Seniorcare」

## システム概要

事業者名	株式会社アルカディア		
名称	Seniorcare	URL	<a href="https://www.arcadia.co.jp/products/sos_net_work#index02">https://www.arcadia.co.jp/products/sos_net_work#index02</a>
概要	<p>認知症の方が行方不明になった場合、あらかじめ受信登録した地域の協力者（公共機関や協力団体等）に対し、検索情報をメール・FAX・電話で配信できるASP（アプリケーションサービスプロバイダ）サービス。</p> <p>行方不明事件が発生し、家族等が市町村に届け出た際に、市町村の担当者は本サービスによって、速やかに地域の登録者に検索依頼情報を送信できる。</p> <p>なお、メールの受信登録は協力者自身がQRコードを使って簡単に行うことができる。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>メール、Webブラウザを使用</li> <li>Google Chrome最新版に対応</li> </ul>	料金	<p><b>初期費用</b> ・25,000円（税別）</p> <p><b>運用費用</b> ・月額5,000円（税別） ※登録件数はメールアドレスが1,000件まで、電話・FAXが50件まで。 ※電話・FAXを利用した場合は、別途通信費がかかる。</p> <p><b>その他</b> オプション無</p>
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>行方不明者の氏名や特徴、写真などをWEBブラウザ上から登録し、予め受信登録した公共機関や協力団体へメール・FAX・電話で情報を発信。</li> <li>行方不明者および地域の協力者の登録や、メール・FAXの文面編集等は、管理者がWebブラウザを使って行うことができる。</li> </ul>	—
範囲	—	—	—
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

### 【サービスの流れ】



## 自治体導入実績

### 【事例】岩手県花巻市

- ✓ 市役所にSeniorcareを導入し、行方不明高齢者発見SOSメールを運用。
- ✓ 公共機関や協力団体等、地域の協力者に事前に登録していただき、行方不明事案が発生した場合に、市役所から協力者に対して検索依頼メールが送信される。
- ✓ 協力者が行方不明者とみられる方を発見した場合、花巻警察署への連絡を依頼している。
- ✓ 市役所のHPに協力者登録のためのQRコードを記載し、一般の方にも協力を呼び掛けている。

# No.3 株式会社オレンジリンクス「爪Qシール®」

## システム概要

事業者名	株式会社オレンジリンクス（総務部）		
名称	身元確認ネイルシールサービス 「爪Q（ツメ・キュー）シール®」	URL	http://orangelinks.co.jp
概要	QRコードが印字された「爪Qシール®」を、行方不明のおそれのある方の手や足に予め貼り付けておくと、警察・消防等で保護された際、QRコードを読み取ることで、緊急連絡先として登録されている市役所・施設等に本人確認の問合せができる。QRコードには、市区町村名および連絡先電話番号、個人ID等の情報が含まれている。シールはつけ剥がしが簡単で、防水に優れており、1回貼ると約2週間程度持つ。		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>爪に貼れる大きさのQRコード（株式会社デンソーウェーブの登録商標）が印字されたネイルシール：縦0.75mm X 横0.75mm</li> <li>QRコードには、『連絡先市区町村名および、連絡先の電話番号、個人ID』が記録されている。</li> </ul>	料金	・市区町村向け 1人¥1,000（約16週間分の爪Qシール） ・介護施設向け 1人 ¥ 600（1ヶ月分の爪Qシール） ※施設向けは、個人賠償責任保険付き
		運用費用	・シールが切れ次第上記値段で再購入いただく。
		その他	オプション無
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	範囲	-	-
その他サービス	-		

## 特徴・サービス内容

【サービスのフロー】



【製品イメージ】



## 自治体導入実績

### 【事例】埼玉県入間市

- ✓ 認知症の方が端末等を持ち歩くハードルが高いことから、常時身に付けられるアイテムとして本サービスを導入。
- ✓ 市内の認知症高齢者に『「爪Qシール®」』を無償で提供。
- ✓ 最寄の警察署（狭山警察）とサービス利用者の情報を共有しており、身元不明者が警察署で保護された場合、爪Qシールを読み取ることで、警察署ですぐに身元を把握することができます。
- ✓ 登録者に対しては、爪Qシールだけでなく、かかとステッカー（入間市の名称と身元特定番号が印字された靴に貼る蛍光シール）、徘徊SOSキーホルダー（爪Qシールと同じQRコードが入ったキーホルダー）の3点をセットで交付しているため、爪に貼ることに抵抗のある方や、管理が難しい方には、キーホルダー等を利用することも可能。

# No.4 株式会社介護用品愛ショップ「魔法の靴」

## システム概要

事業者名	株式会社介護用品愛ショップ		
名称	愛SOSネットワークシステム「魔法の靴」	URL	<a href="http://mahounokutsu.com/">http://mahounokutsu.com/</a>
概要	<p>認知症の方が日常履き慣れている靴にGPS端末を埋め込み、常時身に着けることで、家族等がスマートフォン、パソコン等で位置情報を確認できるサービス。認知症の方へ違和感を与えないよう、予め端末が埋め込んである靴を販売するだけでなく、履き慣れた靴への端末の埋め込みにも対応している。</p> <p>その他、曜日や時間を設定しておく、自動で位置情報を指定の宛先に通知する機能や、自宅等から一定距離離れると家族等へ通知する機能、緊急時に利用者自らスイッチを押すことで、位置情報付の緊急通報メールを事前に登録した宛先に送付する機能等がある。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTTdocomo小型GPS端末</li> <li>サイズ 横38.5mm、縦45.5mm、厚11.85mm</li> <li>質量約30g</li> <li>主要機能 ネットワークアシスト測位・GPS単独測位、自己位置通知、第三者検索、電源off通知、電池残量低下通知</li> <li>連続待受時間 約400時間</li> <li>通信方式 W-CDMA (800MHz/2GHz)</li> <li>充電 マイクロUSB充電 バッテリー650mAh</li> <li>防水 1P×5 バッテリー 650mAh</li> </ul>	料金	<p><b>初期費用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入会金 3,000円</li> <li>GPS端末開設手数料 3,000円</li> <li>魔法の靴 7,000円</li> <li>※すべて税別</li> <li>※以下運用費用も含めた2年間支払合計額：87,000円(一括前払)</li> </ul>
		運用費用	GPS端末月額使用料 2,250円×24ヶ月(54,000/2年)
		その他	
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSにより家族等がアプリ上で現在位置を確認できる。現在の位置情報と過去3日分の移動履歴を確認可能。</li> <li>その他、自宅等から一定距離離れると家族等へ通知するほか、緊急時に利用者自らスイッチを押すことで、位置情報付の緊急通報メールを事前に登録した宛先に送付することが可能。</li> </ul>	-	-
範囲	GPSの測位可能エリア内	-	
その他サービス	-		

## 特徴・サービス内容

### 【製品イメージ】



## 自治体導入実績

- ✓ 静岡県沼津市、兵庫県加東市など、GPS機能付きの位置検索機器のレンタル・新規購入に対する助成を実施している自治体において、行政の規定する条件をクリアする方にGPS端末を貸出。

# No.5 加藤電機株式会社 「SANフラワー見守りサービス」

## システム概要

事業者名	加藤電機株式会社（総務部・営業部）		
名称	SANフラワー見守りサービス	URL	<a href="http://www.anshin-anzen.com/san-flower/senior.html">http://www.anshin-anzen.com/san-flower/senior.html</a>
概要	お守り袋や靴に入れて使用可能な小型の発信機（SANタグ）を高齢者等が携帯すると、市内に設置されたSANアンテナで通過履歴・位置情報が把握できるほか、発信機の電波を直接受信できる検索機器SANレーダーによる検索が可能。その他、施設や自宅に設置したSANアンテナの見守りエリアから離れた場合や、発信機が振動を感知した場合のメール通知や、緊急時に利用者自ら発信機を4回振ることで、位置情報付の緊急通報メールを送付することもできる。		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>発信機は小型・軽量で、バッテリーが長寿命</li> <li>重さ 約9g、縦34mm、横29mm、厚さ10.5mm</li> <li>連続作動時間 約45日間</li> <li>探索範囲 中継器SANアンテナカバーエリアまたはSANレーダー見通し約1km</li> <li>WebアプリはiOS 及びAndroid™に対応</li> <li>独自の特許技術に基づく、920MHz 特定小電力帯域を用いたLPWA/IoTシステム。SANレーダーによる直接波検知によりネット環境が無くても検索が可能</li> </ul>	初期費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>端末代 14,800 円</li> <li>初期登録料 3,000 円</li> <li>SANレーダー 40,000 円</li> <li>SANアンテナ光 29,800 円～</li> </ul>
		運用費用	利用料 0 円/月～
		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りシューズ、ケースなどの付属品</li> <li>ドアセンサ、振動センサなど</li> </ul>
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>SANアンテナにより発信機の位置情報を把握し、家族等がアプリ上で現在位置を確認できる。</li> <li>事前に設定したエリアから端末が外れた場合、事前に設定した宛先にメール通知を送信できる。</li> <li>発信機の電波を直接受信できる検索機器により、ネット環境が無くても検索が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専用アプリにて、登録協力者に検索協力のプッシュ通知も可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別ID番号による管理</li> </ul>
範囲	SANアンテナの設置エリア内およびSANレーダーによる検索は無制限	各自治体の検索協力隊エリア	
その他サービス	独居見守り、こども登下校見守り SANフラワー対応防犯カメラ		

## 特徴・サービス内容

### 【製品イメージ】



### 【製品の特徴】

- ✓ 発信機が小型・軽量（約9g）で携帯しやすい
- ✓ 発信機のバッテリーは約45日充電不要
- ✓ 検索機器（SANレーダー）は見通し1km、誤差50cmで発信微弱電波なので、医療機器周辺での利用も可能
- ✓ センサー利用で独居見守り
- ✓ こどもの登下校見守り



## 自治体導入実績

### 【事例】愛知県半田市

- ✓ 市内の認知症有症者に発信機（SANタグ）を無料で貸与。
- ✓ また、行方不明発生時には検索協力者らへメールを配信。
- ✓ ご家族や地元警察、介護関係者などへ検索機器SANレーダーを貸与している。

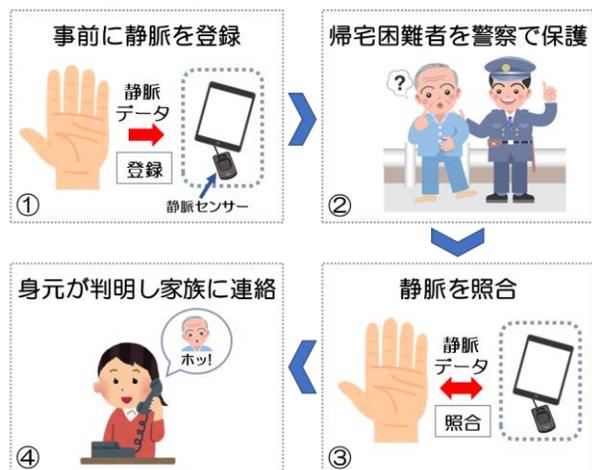
# No.6 株式会社クライム 「高齢者等身元特定支援サービス」

## システム概要

事業者名	株式会社クライム（管理本部）		
名称	高齢者等身元特定支援サービス	URL	<a href="https://www.climb-net.co.jp/biometrics/">https://www.climb-net.co.jp/biometrics/</a>
概要	<p>警察等で身元不明者を保護した際に、手のひらの静脈認証により身元特定を支援するサービス。（※実証実験中）</p> <p>群馬県警では、本サービス導入以前より、迅速な身元特定を目的として、行方不明になる恐れがある人を事前に登録しておく「事前登録制度」を県内各自治体と協定を結び運用している。この制度において事前に登録する身元情報に手のひら静脈パターンを加えることで、本サービスをこの制度の一部として運用し、迅速で確実な身元特定を可能としている。</p> <p>なお、本サービスは2017年度から実証実験中であり、2019年度の実験には群馬県警、前橋市、沼田市、みどり市、吉岡町が参加している。実証実験は2019年度で終了予定。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>手のひら静脈認証（富士通株式会社製）</li> <li>64bit Windowsタブレット+手のひら静脈センサー（USB接続）</li> <li>1回の照合で5000の静脈データとの照合が可能</li> <li>富士通製の手のひら静脈センサー：重さ65g、縦86mm、横54mm、厚35mm</li> </ul>	初期費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格未定（実証実験中の為）</li> <li>※現在：端末配備手数料 1台20,000円（実費：端末の設定、使用方法説明、および運用説明等込）</li> </ul>
		運用費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格未定（実証実験中の為）</li> <li>※現在：端末1台あたり12,000円/月（端末一式（登録／照合アプリ、タブレットPC、手のひら静脈センサー）のリース料）</li> </ul>
		その他	オプション無
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	範囲	-	-
その他サービス	-		

## 特徴・サービス内容

### 【サービスの流れ】



## 自治体導入実績

【事例】群馬県前橋市、沼田市、みどり市、北群馬郡吉岡町

※実証実験中

- ✓ 市役所、および役場に手のひら静脈パターンの登録用端末を配備し、事前登録制度の登録時に手のひら静脈も登録。
- ✓ 前橋市、沼田市では、市内の認知症疾患医療センターにも登録用端末を配備。
- ✓ 併せて、当該自治体を管轄する各警察署には、照合用の端末を配備している。

# No.7 株式会社システムインナカゴミ 「見守りシューズ」

## システム概要

事業者名	株式会社システムインナカゴミ（見守りシューズ担当）			
名称	見守りシューズ	URL	<a href="https://www.mimamori.ne.jp/">https://www.mimamori.ne.jp/</a>	
概要	靴の踵部に内蔵できる通信型GPSをNTTドコモの協力を得て開発し、「見守りシューズ」として商品化。GPS機能により、インターネットが接続可能なパソコン、スマートフォン等で位置情報を確認できる。設定エリアから端末が出た場合、家族等にメールを送信することも可能。			
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>○靴</li> <li>靴の種類：標準型、合皮型、本革マイスターシューズ</li> <li>靴のサイズ：22cmから27cmまで0.5cm刻み</li> <li>○内蔵されるGPS（NTTドコモ社製）</li> <li>サイズ 38.5mm×45.5mm×11.85mm</li> <li>質量 約30g</li> <li>使用温度 -20～60℃</li> <li>防水性能 IPX5</li> <li>防塵性能 IPX5</li> <li>待機バッテリー 最大400時間</li> </ul>	料金	初期費用	・0～69,000円 ※端末、シューズとも1ヵ月からのレンタルまたは買取が可能
			運用費用	・0～3,000円 ※端末、シューズとも1ヵ月からのレンタルまたは買取が可能
			その他	オプション有 ・交換用シューズ(9,000円～) ・充電器、保護ケース
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認	
	<p>・GPSにより現在の位置情報を把握。家族等がブラウザ上で現在位置を確認できる。</p> <p>・その他、事前に設定したエリアから端末が外れた場合、事前に設定した宛先に通知する機能や、緊急時に利用者自らスイッチを押すことで、位置情報付の緊急通報メール送付する機能等がある。</p> <p>※通常、端末は靴に内蔵されているため、緊急通報機能を使用するケースは少ない。</p>			
範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NTTドコモFOMA網内</li> <li>・一部山間部を除く全国</li> <li>・室内はGPS機能が使えないため、最寄りの携帯電話基地局を位置として返す。</li> </ul>	—	—	
その他サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・故障時の代替機提供</li> <li>・機器の操作説明</li> <li>・靴のサイズが合わない場合は1度のみ無償交換</li> <li>・はきなれた靴の改造（できない場合もある）</li> </ul>			

## 特徴・サービス内容



1ヶ月からレンタルでき初期費用が0円から始められます。靴の種類は3種類、サイズ交換も可能です。

# No. 8 株式会社昭文社 「おかえりQR」

## システム概要

事業者名	株式会社昭文社（おかえりQR事業推進チーム）		
名称	「おかえりQR」	URL	<a href="https://www.mapple-search.biz/">https://www.mapple-search.biz/</a>
概要	<p>高齢者の方の行方不明時に、現在の状況や発見場所などを即時に家族に伝え、早期発見を支援するサービス。あらかじめ高齢者の持ち物にQRコード付きシールを貼り付けておき、発見者がスマートフォンでQRコードを読み取ることで、状況や発見場所を即時に家族に伝えることができる。シールをスマートフォンや携帯電話で読み取れば誰でも家族への連絡が可能となり、専用のアプリは必要ない。さらに、発見者には近くの交番および現在地から近くの交番までの道順が地図上で表示される。発見時にはメールアドレスなど個人情報は開示されず、発見者にとってあまり負担をかけない仕組みとなっている。</p> <p>※首都圏（1都7県）の郵便局窓口およびオンラインストアでも購入可能。</p>		
仕様	シール本体 ・ 大4枚(H43mm× W60mm) ・ 小6枚(H25mm× W35mm) ・ 屋外での利用を想定し、耐水性のある素材（ユポ紙）を使用 +取扱説明書	初期費用	おかえりQR 1シート:1980円(税込) ※シール大:4枚、シール小:6枚セット
		運用費用	なし
		その他	—
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	・おかえりQR(QRコード付きのシール)を携行品などに貼った高齢者を発見した人が、スマートフォンや携帯電話でQRコードを読み取ると、発見場所や発見時の状況をメールや電話等で家族に伝えられる。 ・事前に許可を受けた施設や団体などの連絡先を登録することも可能。	介護事業者や新聞販売店との連携および各警察本部への協力依頼を推進。	発見者がQRコードシールを読み取ると位置情報等を家族にメールで直接連絡可能。
範囲	—	—	—
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

### <特長>

安くてもカンタン、便利です！

ユーザー登録後はシールを持ち物や服などに貼るだけでOK。1年間有効で、月額使用料や専用アプリのダウンロードは不要です。

地図表示でわかりやすい！

発見場所を地図上で特定でき、近くの交番を地図上で探すことも可能。連絡メールには、発見場所の地図が表示されます。



### <サービスの流れ>



# No.9 ジョージ・アンド・ショーン株式会社 「bible」

## システム概要

事業者名	ジョージ・アンド・ショーン株式会社			
名称	「bible (ビブル)」	URL	https://george-shaun.com/	
概要	小型・軽量で、Bluetoothを用いて電波を発信可能なタグ「bible」を使用したサービス。 認知症の方が「bible」を携帯して、アプリケーションをインストールしたスマートフォンを持つ地域住民や、地域に設置された固定受信装置に近づくと、地域住民のスマートフォンや受信装置の位置情報が自動的にサーバーに送信される。家族等は、位置情報をスマートフォンで確認できる。 また、50m以内の場合、登録者(家族等)がアプリのブザーボタンを押すことで、タグのブザーを鳴らして検索することも可能。			
仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>Bluetooth機能付き専用端末</li><li>製品サイズ：Φ 30mm × D 3.5mm</li><li>電源：ボタン電池型 ※電池交換可能</li><li>アプリはiOS及びAndroid™に対応</li><li>bible LiTEは防水・防塵仕様(IP66)</li></ul>	料金	初期費用	・端末代(税込) 4,070円 (1個) ※小型・軽量版の「bible LITE」は3,278円
			運用費用	・運用費用は無料 ・アプリ利用料は無料
			その他	—
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認	
	<ul style="list-style-type: none"><li>アプリを入れたスマートフォンまたは固定受信装置がBluetooth通信によりタグを検知することで、スマートフォンのGPS情報により端末の現在の位置情報を把握。家族等がアプリで現在位置を確認できる。</li><li>タグとスマートフォンは、Bluetoothを使用して通信するため、スマートフォンのBluetoothをオンしておく必要がある。</li><li>家族等がアプリのブザーボタンを押すことで、タグのブザーを鳴らして検索することも可能。</li></ul>	—	—	
範囲	見通し距離80m程度 ※鳴動距離は30m～50m	—	—	
その他サービス	不正に持たされて追跡されることを防ぐための、不正利用防止のための特許を保有。(特許 第6326604号) また、高齢者施設内に受信機を設置することで、位置把握や外出検知を行う「施設360°」という高齢者施設向けサービスや、AI解析に基づく認知症/MCIの早期検知事業を展開。			

## 特徴・サービス内容

bible 1<sup>st</sup> version



bible LiTE



- ✓ より小型でシンプルなデザイン
- ✓ 防水・防塵
- ✓ 位置情報の不正利用を検知する特許技術搭載

## 自治体導入実績

【事例①】兵庫県加古川市：市の保有する、市内1500台の見守りカメラを固定局としてbibleを受信。また、同データを用いて認知症層検知実証を実施

【事例②】神奈川県藤沢市：藤沢市内で展開され、およそ2,000人が保有する地域情報アプリ「SOYLINK」、および市内の定点設置受信機数百台を利用してbibleを受信。また、市内の高齢者施設内にて施設360°および認知症早期検知実証施策を実施。

【事例③】福島県会津若松市：Smart City 5.0の取り組みの中で、ヘルスケア実証の一環として、認知症早期検知実証を実施予定。

# No.10 みまもりあいプロジェクト 「検索支援アプリ」「緊急連絡ステッカー」

## システム概要

事業者名	社団法人セーフティネットリンケージ みまもりあいプロジェクト		
名称	検索支援アプリ「みまもりあいアプリ」 緊急連絡ステッカー「みまもりあいステッカー」	URL	http://mimamoriai.net/
概要	<p>【検索支援アプリ（みまもりあいアプリ）】 平成28年度厚生労働省「介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業」にて開発。全国約60万人がダウンロード（2020年2月時点） 検索依頼者がアプリ上で検索依頼をかけると、アプリをダウンロードしている周辺地域の検索協力者に直接プッシュ通知にて検索依頼と検索者情報を送ることができる。検索依頼をかける範囲や行方不明者の写真等の個人情報をどこまで載せるかを依頼者が選べる。行方不明者が発見されたあとは協力者に直接プッシュ通知で発見連絡（御礼通知）とともに端末から行方不明者の情報が消去されるなど個人情報の保護に配慮している点が特徴。 イベント等で実施できる検索・見守り訓練機能が無料で付いており、全国100ヶ所で開催、約2万人が参加。</p> <p>【緊急連絡ステッカー（みまもりあいステッカー）】 ステッカーは衣服等につけることができ、個人IDと発見時の連絡先が記載されている。発見後は、ステッカーに記載されている発見時の連絡先（フリーダイヤル）に電話し、個人ID番号を入力すると直接検索依頼者に電話することが可能。その際、協力者の電話番号等の情報は依頼者には表示されないため、個人情報を保護した状態で協力者と依頼者が直接繋がるができる。（日本初の仕組み）落とし物対策から子供の方が一の際の緊急連絡としても用途拡大が可能で、家族みなで使える多世代型ステッカー。 （みなが使えることで認知症当事者の自尊心にも配慮） 左記のアプリに個人IDを入力して検索依頼をかけることもでき、個人情報を保護した状態で検索依頼から本人確認までを一貫して行える。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索支援アプリ（みまもりあいアプリ） （検索・見守り訓練機能付き） Android、iOS対応</li> <li>緊急連絡ステッカー（みまもりあいステッカー） サテン式（布・シール併用タイプ）</li> </ul>	初期費用	<p>【アプリ】 利用料＝無料 依頼者・協力者ともに無料</p> <p>【ステッカー】 入会金2,000円 ※ステッカー48枚の代金込み</p>
		運用費用	<p>自治体導入も無料対応</p> <p>月額300円</p>
		その他	【アプリ】検索・見守り訓練機能（無料）
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	範囲	<p>－</p> <p>5km・10km・20kmから選択可能</p>	<p>－</p> <p>発見者がステッカーに記載のフリーダイヤルに電話し、個人ID番号を入力すると、個人情報を公開することなく、事前登録された家族の電話番号に連絡できる</p>

## 特徴・サービス内容

### 【みまもりあいアプリ】 利用フロー



### 【みまもりあいステッカー】



## 自治体導入実績

### 【事例 千葉県船橋市】

- ✓ 以前より、GPS端末を用いた、認知症高齢者の検索支援事業を実施していたが、金銭的負担の少なさを考慮し、2019年度から「みまもりあいプロジェクト」（みまもりあいステッカーおよびみまもりあいアプリ）を導入。
- ✓ 約2万人が登録している一斉メールサービス「ふなばし情報メール」と並行し、行方不明者の検索のために利用。
- ✓ 捜査協力者数の増加に向け広報を実施し、事業開始2ヶ月で約5,000名がダウンロード。
- ✓ ステッカーの利用料金は基本的に自己負担で助成等は行っていない。アプリの利用やステッカーの購入をしていない人でも、警察で申請書を提出すればアプリダウンロード者に検索を依頼することが可能。

### 【事例 東京都八王子市】

- ✓ ダウンロード数は約1万2,000件、2018年度にアプリからの検索依頼件数689件、202件の発見通報があった。

# No.11 セコム株式会社「ココセコム」

## システム概要

事業者名	セコム株式会社		
名称	ココセコム	URL	https://www.855756.com/service/
概要	GPS端末を高齢者が携帯していることにより、高齢者の現在の居場所を確認することができる位置情報確認サービス。家族等は、パソコン・スマートフォン・携帯電話から専用ホームページにアクセスすることで端末の現在地を確認することができる。家族等が要請した場合には、セコムの緊急対応員が現場に駆けつけ、家族へ引き渡す。家族が迎えに来るか、タクシーを手配し送り届けるまで緊急対応員が高齢者に付き添う。万一の場合は、救急車の手配も行う。		
仕様	<ココセコム（特定割引）> 位置情報検索に特化したシンプルなGPS端末。 通報ボタンがないため、ボタン操作に不安がある方の誤操作を防止。 ・寸法：縦79mm×横43mm×厚さ18.2mm ・質量：約28.7g（バッテリー：約23.0gを除く） ・バッテリー連続動作時間 最大360時間（フル充電約3h半）	初期費用	加入料金：5,000円（税別） ※インターネットからの申し込みで500円割引 標準充電器 2,000円（税別） ※ココセコム本体はレンタル
		運用費用	月額基本料金：500円（税別） ※インター専用ホームページでの検索が毎月2回まで無料
		その他	位置情報提供料金・現場急行料金は都度請求（これらを含む自治体向けパッケージプランあり）
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	範囲	au（4G LTE）の全国サービスエリアで利用可能	
その他サービス	必要に応じてセコムの緊急対応員が駆けつけ、家族へ引き渡す。		

## 特徴・サービス内容

### 【GPS端末】

<ココセコム（特定割引）：通報ボタンなし>



### 【追加購入機器】

標準充電器



バッテリー充電器



### 【現在地確認画面】

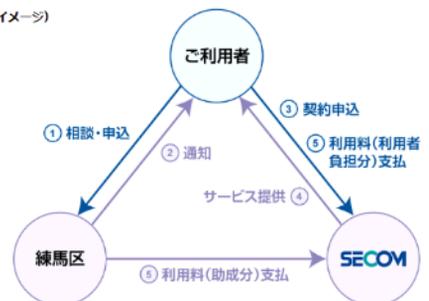


## 自治体導入実績

### 【事例】東京都練馬区

- ✓ 東京都練馬区では、住民がココセコムを利用する際の利用料を助成する「認知症高齢者位置情報提供サービス利用料助成」制度を実施。
- ✓ 住民が区に対して助成を申し込むことで、初期費用全額、および月々の運用費用のうち半分を区が助成する。利用者は月々の運用費用の残り半分額を負担する。

助成の仕組み（イメージ）



# No.12 総合警備保障株式会社 「みまもりタグ」

## システム概要

事業者名	総合警備保障株式会社（ALSOK）（HOME ALSOK事業部）		
名称	みまもりタグ	URL	<a href="https://www.alsok.co.jp/person/mimamoritag/">https://www.alsok.co.jp/person/mimamoritag/</a>
概要	BLE電波を常時発する小型端末「みまもりタグ」を携帯することで、専用アプリ「みまもりタグアプリ」や固定型感知器「みまもりタグ感知器」とすれ違った際に位置情報が記録される。家族等はアプリで位置情報を確認することができる。その他、登録したみまもりタグが特定のアプリユーザーや感知器と近づいたり離れたりした場合に通知する機能があり、外出の早期把握や捜索時の手がかりとして活用できる。		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>BLE（Bluetooth Low Energy）クラス I</li> <li>みまもりタグ サイズ：29.0×56.5×11.6（mm） 動力：ボタン電池で約1年間の動作が可能 電波到達距離：実力値で約20～50m（環境によりこれより長くも短くもなる。見通し100m）</li> <li>みまもりタグ感知器 サイズ：W207.5×H91.0×D40.1（mm） 動力：AC100V 通信仕様：3G回線</li> <li>みまもりタグアプリ iOS8.0以上 Android™4.4以上に対応</li> </ul>	初期費用	みまもりタグ：2,200円 みまもりタグ感知器：23,000円 ※感知器はレンタルプラン有（月額1,400円）
		運用費用	みまもりタグ：月額250円（自治体は200円） みまもりタグ感知器：月額400円 ※初期費用のかからないレンタルプランの場合は月額1,400円
		その他	みまもりタグ専用靴：8,500円～ みまもりタグ感知器の設置代行費用：1台当たり3,000円
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>BLE電波を常時発する小型端末「みまもりタグ」を携帯することで、専用アプリ「みまもりタグアプリ」や固定型感知器「みまもりタグ感知器」とすれ違った際に位置情報が記録される。家族等はアプリで位置情報を確認することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のみまもりタグアプリユーザーに検索対象者や位置情報の補足情報を求めることができる「情報配信」機能あり。</li> </ul>	—
範囲	—	—	—
その他サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱中症や生活リズム異常が取れるモデルや福祉用具の徘徊感知器としてTAISコード取得済モデルもある。</li> <li>みまもりタグ感知器内蔵の緊急通報装置も取扱予定。</li> </ul>		

## 自治体導入実績

### 【事例①】北海道鷹栖町

- ✓ 認知症高齢者および家族等に対し、みまもりタグの利用を推奨する（有料）とともに、町民に対しみまもりタグアプリのダウンロードを推奨。
- ✓ 町内の公共施設など約30ヶ所にみまもりタグ感知器を設置。

### 【事例②】滋賀県湖南市

- ✓ 国土交通省「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業（平成28年度～30年度）」を利用し、みまもりタグの普及に関するモデル事業を実施。事業終了後も引き続き市予算で継続。
- ✓ 市の定める対象者にみまもりタグ感知器を貸与。（初期費用は全額市が負担。運用費用は利用者負担）

## 【製品イメージ】



みまもりタグ



みまもりタグ感知器



みまもりタグ専用靴



みまもりタグアプリ

# No.13 ソフトバンク株式会社 「オレンジセーフティネット」

## システム概要

事業者名	ソフトバンク株式会社（オレンジセーフティネットお問合わせ窓口）		
名称	オレンジセーフティネット	URL	https://www.softbank.jp/corp/csr/senior-support/osn/
概要	<p>スマートフォンを活用した、認知症高齢者の方を全国横断的に見守るサービス。          家族等が、アプリを通して全国の協力隊に検索依頼ができる。施設または自治体が代行して検索依頼を行うことも可能。          協力隊は公共機関のほか、個人でも登録が可能。          検索中は、アプリのグループトーク機能により、協力隊と家族等がリアルタイムで状況を確認できる。発見後もグループトーク画面で発見時の状況や位置の伝達や、本人確認のためのやり取りが可能。          検索の範囲について、検索を依頼する側も検索依頼を受ける側も自由に範囲を設定できる。検索を依頼する側は、探しても無駄なエリアまで声をかけないように、狭いエリアから検索依頼の範囲を指定できる。また、検索依頼を受ける側は、自身が協力できない範囲の検索依頼情報を受け取らないように範囲を設定できる。          協力者が検索協力を表明するまで、個人情報には開示されず、発見後は個人情報は非表示になるなど、個人情報を保護した状態で検索活動ができる。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理システム（Webブラウザ）</li> <li>スマホアプリケーション（iOS及びAndroid™に対応）GPS位置情報、カメラ連動</li> </ul>	初期費用	初期費用 200,000円（税別） ※自治体が負担する費用
		運用費用	利用料 年額360,000円（税別） ※自治体が負担する費用
		その他	オプション有（現地での利用者向け説明、登録サポートなど） ※金額等は個別見積り
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>発見後、アプリのグループトーク機能を利用して協力隊が家族へ位置情報を送信可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索依頼者（家族や支援者）が検索依頼を行う範囲を指定すると、その範囲内で捜査に協力可能な方へ、検索情報がプッシュ形式で通知される。</li> <li>操作活動中は、トーク画面でテキスト・画像・位置情報による情報交換や、目撃報告が可能。</li> </ul>	—
範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索依頼を行う範囲は、3kmから全国で指定できる</li> <li>検索協力者も、検索依頼を受け取る範囲を3、5、10kmで設定可能</li> </ul>		
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

### アプリ画面イメージ



検索依頼の一斉送信  
\* 距離による範囲指定



「協力者」の  
位置/人数の見える化



トーク機能で、  
検索状況の交換が可能



依頼取下げ後非表示切替  
（24時間経過で削除）

# No.14 東邦ホールディングス株式会社 「どこシル伝言板」

## システム概要

事業者名	東邦ホールディングス株式会社（地域医療連携室）		
名称	どこシル伝言板	URL	<a href="https://mirai-town.com/product/map/">https://mirai-town.com/product/map/</a>
概要	<p>QRコードが印字されたラベル・シールを衣服や杖等、日常の持ち物に貼り付け、それを発見者がスマートフォンなどの携帯電話にて読み取ることで、家族や自治体に自動でメールが送信され、発見者と家族が専用伝言板を介しての情報交換が可能となる。発見者は、位置情報や発見時の情報等に関する連絡を行うことで、家族が保護される場所へ速やかに迎えに行くことができる。伝言板には、その方の既往症情報や保護時に注意すべき点が情報として登録されており、本人の心理的・身体的負担をかけない対応を促すことができる。また災害時等の非常時に本人への最低限の支援情報としても活用する事が可能。専用伝言板には、氏名のかわりにニックネームを記載することにより、個人情報保護している。さらに、医療機関などで処置を行うときの家族同意も、専用伝言板を利用し、遠方の家族への確認連絡にも対応可能。自治体単位での導入時には、声掛け訓練の実施のほか、協力者支援団体への説明会等を通じた啓発活動も実施している。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラベル（耐洗ラベル）、蓄光シールの2種類</li> <li>・ラベル（耐洗ラベル） アイロン熱圧着、サイズ 2.5×5.0cmラベル（耐洗ラベル） 200回以上の洗濯でも継続使用可能</li> <li>・蓄光シール（シール貼付）サイズ2.5×4.5cm</li> <li>・DB・WEBサーバ パブリッククラウド（AWS）を使用</li> </ul>	料金	<p>初期費用</p> <p>初期導入費（税別） 35,000円/自治体あたり</p> <p>ラベル・シール購入費（税別） 二種混合30枚セット 3,290円 （蓄光シール10枚+耐洗ラベル20枚） 他、組み合わせも可能 ※最低購入ロット数 10セット以上 ※新規購入時、追加購入時 共通</p>
		運用費用	なし
		その他	-
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	範囲	-	-
その他サービス	-		

## 特徴・サービス内容

## 自治体導入実績



### 【事例】G市

- ✓ 自治体の定める対象者に対し、ラベル・シール購入費を補助。
- ✓ 読み取ると市役所や警察の連絡先が記載されているサービスが多い中、家族等と発見者が伝言板を介して直接やり取りが可能であり、タイムラグが発生しないことから導入を決定。導入後、事業の周知を行うにあたっても、当社の支援を受けている。

# No.15 株式会社トレイル「うららかGPSウォーク」

## システム概要

事業者名	株式会社トレイル（営業企画）		
名称	多種GPS機器内蔵可能靴「うららかGPSウォーク」	URL	<a href="https://www.uraraca.net/rehabili-shoes/gps-walk.html">https://www.uraraca.net/rehabili-shoes/gps-walk.html</a>
概要	<p>多種のGPSを内蔵できる収納スペースのある靴。 発売当初は、内蔵できるのはNTTドコモ開発の小型GPS機器のみであったが、多種のGPS機器を内蔵できるよう汎用化。世界標準GPS機器のトラッキモGPSもシューズに装着可能。 その他、加速度センサーを備えており、端末が振動を検知した際に、登録した宛先に位置情報を自動で送信することができるほか、設定した範囲を超えた場合、メールにより家族等へ連絡することもできる。 また、3G停波後にも見守りを継続できるよう京セラコミュニケーションとSigfox通信を利用した機器を内蔵できる靴を開発中。</p>		
仕様	<p>○シューズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>靴の種類：以下の2種を販売</li> <li>①うららかGPSウォーク®：合皮/スウェード素材、ブラック</li> <li>②うららかGPSウォーク®Z：合皮素材、ブラウン</li> <li>靴のサイズ：22.0/22.5cmから27.0/27.5cm</li> </ul> <p>○NTTドコモ社製GPS</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重さ約30g、38.5×45.5×11.85mm</li> <li>連続待受時間：約400時間</li> <li>専用Webページにログインして検索。国内全域対応</li> </ul> <p>○トラッキモGPS</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重さ約40g、45×40×18mm</li> <li>連続待受時間：約144時間</li> <li>アプリOS、AndroidおよびWebページにログインも可、世界全域で使用可能（タイ及び中国国内では検証済み）</li> </ul>	初期費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>シューズ：7800円または9800円（両足の場合）</li> <li>NTTドコモ社製GPS：レンタル業者5,000円（業者により差異あり）</li> <li>トラッキモGPS：23,500円＋消費税（初期費用、1年間の通信料、本体価格込み）</li> </ul>
		運用費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTTドコモ社製GPS：レンタル業者の場合、通信料月々1,800円＋消費税（業者により差異あり）</li> <li>トラッキモGPS：初期費用、2年目以降年間の通信料 7,500円＋消費税</li> </ul>
		その他	<p>オプション有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NTTドコモ社製GPS：レンタル業者による検索代行 200円/回など（業者により差異あり）</li> </ul>
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵したGPS端末により位置情報や移動履歴をアプリやWeb上から地図上で確認可能。</li> <li>加速度センサーを備えており、端末が振動を検知した際に、登録した宛先に位置情報を自動で送信することができる。</li> <li>フェンス機能により、設定した範囲を超えた場合、メールにより家族等へ連絡。</li> </ul>	—	—
範囲	<p>NTTドコモ社製GPS機器：日本国内全域（3G回線範囲内）</p> <p>トラッキモGPS：世界全域（3G回線範囲内）</p>	—	
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

## 自治体導入実績

### 【製品イメージ】



### 【事例】群馬県高崎市

- ✓ 行方不明の心配のある高齢者・家族にGPS機器を無償貸与。
- ✓ 見守りセンター（委託業者）が24時間365日体制で稼働しており、家族から捜索依頼の電話が入るとGPS機器で行方不明高齢者の位置を確認。
- ✓ 探知した位置情報を、依頼元の家族等にメール配信また電話で連絡する。必要に応じて見守りセンターの職員が現地に急行し、捜索・保護を行う。
- ✓ 協定に基づき位置情報と顔写真を警察へ提供。市外・県外に出た場合も、警察間の連携により早期発見・保護が可能。



# No.17 株式会社ビビッド・ジャパン 「お守りGPS」

## システム概要

事業者名	株式会社ビビッド・ジャパン（お守りサービス部）		
名称	「お守りGPS」	URL	<a href="https://www.vivid-japan.co.jp/gps/">https://www.vivid-japan.co.jp/gps/</a>
概要	NTTドコモの小型のGPS端末をお守り袋に収納した、「いつでも持っている」ことができる介護用位置情報サービス。スマートフォン、パソコンから介護用『お守りGPS』保有者の位置をリアルタイムに知ることが可能。また、一定の範囲から出ると、お知らせメールが入る機能も有している。		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS</li> <li>30g、38.5mm×45.5mm×11.85mm</li> <li>連続待受時間 WCDMAモード 400時間</li> <li>探索範囲は地球上</li> <li>iOS、Android、Windows</li> </ul>	料金	初期費用 5,000円
			運用費用 1年契約で20,000円／年 月単位の場合 2,000円／月
			その他 オプション無（お守り袋同梱）
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	パソコン、スマートフォン等から「お守りGPS」保有者の位置をリアルタイムに知ることが可能。	—	—
範囲	地球上	—	—
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

### 【サービスイメージ図】



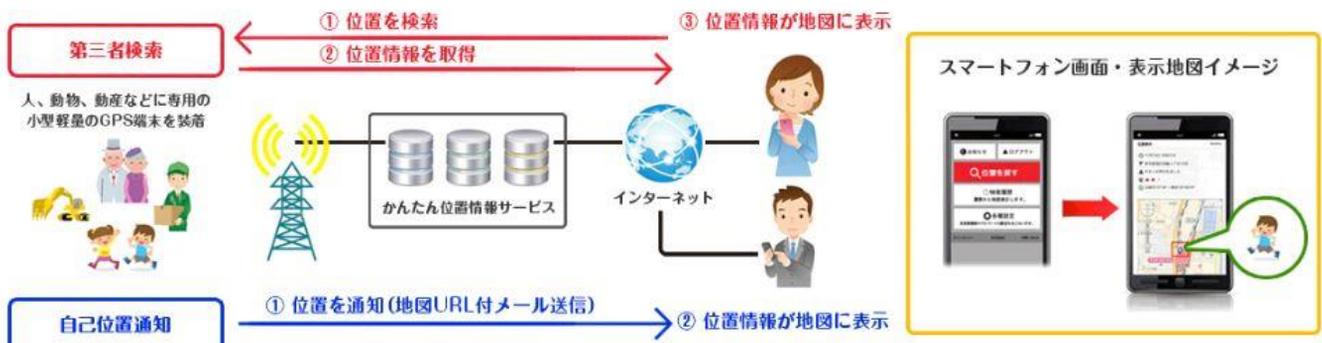
# No.18 株式会社ブリリアントスター 「きらめきシューズ」

## システム概要

事業者名	株式会社ブリリアントスター（介護サービス課）		
名称	GPS機能付シューズ「きらめきシューズ」	URL	<a href="http://brilliantstar.link/">http://brilliantstar.link/</a>
概要	<p>認知症の方が、GPS端末付きシューズ「きらめきシューズ」を履くことで、家族が外出先の居場所をサイト上で確認できるサービス。端末の位置はゼンリンマップで確認できる。</p> <p>その他、事前にエリア通知設定をしておけば、エリア外に端末が出た際に通知する機能や、指定した時刻になると、端末の位置情報を自動で通知する機能、電池残量お知らせ機能等がある。</p> <p>サービス提供元である株式会社ブリリアントスターは、大阪の商工会議所や金融機関の協力のもと運営されている、Fund&amp;Fan事業において、第2回認定企業として採択されており、GPS搭載シューズのさらなる普及に取り組んでいる。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シューズ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイズ：22.0cm～27.0cm</li> <li>・ 色：ブラック</li> <li>・ 重さ：片足約230g(GPS端末含まず)</li> </ul> </li> <li>○GPS                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重さ30g</li> <li>・ 縦45.5mm、横38.5mm、厚11.85mm</li> <li>・ 連続作動時間 最大400時間 充電時間120分</li> </ul> </li> </ul>	初期費用	・GPS端末、専用シューズ、事務手数料込み 12,800円～35,000円（税別）
		運用費用	・利用料 1,500円/月（税別）
		その他	オプション無し
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPSによって現在位置情報を把握し、家族等がサイト上で端末の現在位置を確認可能。</li> <li>・事前にエリア通知設定をしておけば、エリア外に端末が出たとき、設定しておいた宛先にメールが送信される。</li> <li>・また、指定した時刻になると、端末の位置情報を自動で通知することもできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察等の公共機関、地域包括支援センターや認知症オレンジチームなどの協力団体を事前に登録し、検索可能な状態でメールにて現在位置を配信することができる。</li> </ul>	—
範囲	FOMAエリア内	—	—
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

### 【サービスの流れ】



# No.19 株式会社ミマモルメ 「ミマモルメGPSサービス」

## システム概要

事業者名	株式会社ミマモルメ		
名称	ミマモルメGPSサービス	URL	https://www.hanshin-anshin.jp/
概要	<p>GPS端末により、認知症方の居場所を確認できる位置情報確認サービス。          家族等は、パソコン・スマートフォン・携帯電話から専用ホームページにアクセスすることで端末の現在地を確認できる。          けがや病気など万一のときは、GPS端末のボタンを押すことで、登録済みのメールアドレスに位置情報を送信することができる。          その他、振動を感知して通知する機能や、エリアの指定範囲外へGPS端末が持ち出された際に通知する機能等がある。また、バッテリー残量をメールで通知することも可能。          ※また、「まちなかミマモルメ」というサービスも提供。高齢者や子どもが専用端末（ビーコンタグ）を携帯し、学校や交差点など、街中に設置されたビーコン受信機付近を通過すると、受信機がタグ情報をキャッチして通過履歴が見守り者のアプリに届く。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>縦45.5mm×横38.5mm×厚さ11.85mm</li> <li>重さ30g</li> <li>材質 プラスチック</li> <li>連続作動 400時間（平均実働3～4日程度）</li> <li>範囲はNTTドコモ3G回線の届くエリア（国内）</li> </ul>	料金	<b>初期費用</b> 初期登録料 5,900円(税抜) <b>運用費用</b> 月額690円(税抜) ※一年毎の契約で自動更新 <b>その他</b>
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	・GPSとドコモ3G回線を利用し、地図上で位置を把握することができる。 ・その他、振動を感知して通知する機能や、エリアの指定範囲外へ端末が持ち出された際に通知する機能、遠隔操作により端末からブザー音を発音することで検索をアシストする機能等がある。	—	—
範囲	NTTドコモ3G回線の届くエリア（国内）	—	—
その他サービス	—		

## 特徴・サービス内容

### 【製品イメージ】

#### GPS端末



#### 位置情報検索画面



## 自治体導入実績

### 【事例① 京都府長岡京市】

- ✓ 1.介護保険の要支援・要介護認定を受けている、2.認知症等の理由により行方不明になるおそれがある、という要件に合致する方を介護している家族等を対象に、初期費用およびバッテリー交換費用の全額補助、月々の利用料の一部を助成する。
- ✓ 家族等は月々の利用料(税抜640円)のみでGPS端末を利用可能。

### 【事例② 東京都品川区】

- ✓ 品川区に住居があり、以下の①、②に該当する方を利用対象として、端末の利用を助成している。
  - ① 認知症による行方不明の可能性があり原則65歳以上の方
  - ② GPS端末機器を持ち歩ける方
- ✓ また、申請対象者は、品川区に住居があり、以下の①および②に該当する、利用対象者を在宅で介護する家族である。
  - ① 利用対象者の位置を確認後、迎えに行くことができる方
  - ② GPS端末機の管理を行える方
- ✓ 区は初期登録料全額を助成する。

# No.20 株式会社やさしい手 「いまどこちゃん」

## システム概要

事業者名	株式会社やさしい手			
名称	いまどこちゃん	URL	<a href="http://www.yasashiite.com/subdomains/div_page/06/18/">http://www.yasashiite.com/subdomains/div_page/06/18/</a>	
概要	<p>靴にも収納可能な小型のGPS端末をレンタルするサービス。          専用サイトから、ID・パスワードを入力することで、第三者も位置情報および検索履歴情報を閲覧することができる。          PCやスマートフォンを利用できない家族向けに、有料オプションとして、コールセンター宛てに電話連絡することで、代理で位置情報を検索・回答するサービスも行っている。          その他、高齢者本人が端末のボタンを押すことで位置情報を事前に設定したメールで送信する機能や、事前に設定したエリアからの出入りをメールで通知する機能も持つ。          GPS端末を内蔵できるケアシューズ（2色展開）の販売も行っている。</p>			
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS</li> <li>重さ 約30g</li> <li>H45.5×W38.5×D11.85mm</li> <li>生活防水</li> <li>連続作動時間400時間</li> <li>ドコモ回線使用</li> </ul>	料金	初期費用	5,500円（税込）
			運用費用	月額 1,980円（税込）
			その他	オプション有（ケアシューズ、コールセンターへの電話による位置検索依頼、充電残量お知らせサービス）
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSによる位置情報の把握が可能。</li> <li>専用サイトから、ID・パスワードを入力することで、第三者も位置情報及び検索履歴情報を閲覧することができる。</li> <li>その他、高齢者本人が端末のボタンを押すことで位置情報を事前に設定したメールで送信する機能や、事前に設定したエリアからの出入りをメールで通知する機能も持つ。</li> </ul>	—	—	
範囲	ドコモ回線使用	—		
その他サービス	GPSが内蔵できるケアシューズの販売、コールセンターへの電話による位置検索依頼サービス、充電残量お知らせサービス等			

## 特徴・サービス内容

### 【製品イメージ いまどこちゃん】



### 【製品イメージ ケアシューズ】



## 自治体導入実績

### 【事例】埼玉県蕨市

#### ＜対象者＞

認知症による行方不明の可能性があり、サービスの利用が必要と認められる人。

#### ＜助成金額＞

初期費用は5,500円（税込）を市が助成

#### ＜月額利用料＞

利用者負担額の10分の7の額を助成（利用者負担 600円）

# No.21 株式会社リアルタイムシステムズ「CloudGPS」

## システム概要

事業者名	株式会社リアルタイムシステムズ		
名称	リアルタイム所在管理「CloudGPS」	URL	http://realtimesys.jp/
概要	<p>GPSにより家族等がアプリ上で現在位置を確認できるサービス。          現在の位置情報だけでなく、過去3ヶ月分の移動履歴を確認できる。          その他、事前に設定したエリアから端末が外れた場合や、振動を感知した場合に、事前に設定した宛先に自動的に通知を送る。          緊急時に利用者自らSOSボタンを押すことで、位置情報付の緊急通報メールを事前に登録した宛先に送付することも可能。</p>		
仕様	<p>○GPSトラッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重さ：76g、サイズ：77mm×47mm×20mm</li> <li>連続作動時間：省電力モードで最大180時間</li> <li>アプリ：PCとiOS及びAndroid™に対応</li> </ul>	初期費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>端末代 9,800～19,800円(税抜)</li> <li>手数料 0円(税抜)</li> </ul>
		運用費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>端末代利用料 980～2,480円(税抜)/月</li> </ul>
		その他	オプション無
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSにより家族等がアプリ上で現在位置を確認できる。</li> <li>位置情報は、現在の位置情報と過去3ヶ月分の移動履歴を確認可能。</li> <li>事前に設定したエリアから端末が外れた場合、事前に設定した宛先に通知可能。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共機関や協力団体を事前に登録し、メールで情報を配信できる。</li> <li>専用アプリにて、登録協力者に捜索協力のプッシュ通知が可能。</li> </ul>	—
範囲	GPSの測位可能エリア内	—	
その他サービス	緊急時にはスタッフによる捜索代行が可能		

## 特徴・サービス内容

### 【製品イメージ】



## 自治体導入実績

### 【事例】三重県紀北町

- ✓ 三重県紀北町にて、公共交通空白地域の解消に向けて実施された、高齢者向けの「あいのり運送」実証事業（平成30年9月～12月）に本サービスが採用されている。※認知症の方の探索ではなく、GPSを用いた相乗り事業の実証を目的として採用。
- ✓ GPSトラッカーは運転手と希望する会員が所持。高齢者はGPSトラッカーのボタンを押すと、高齢者の現在地が、配車業務を担う配車センターに伝わり、最も近い場所にいる運転手が迎えに行くという仕組みとし、実証実験を実施した。

# No.22 株式会社HSB-confiance 「ミマモルGPS」

## システム概要

事業者名	株式会社HSB-confiance		
名称	ミマモルGPS	URL	<a href="https://www.mimamoru-gps.com/">https://www.mimamoru-gps.com/</a>
概要	<p>NTTドコモ社が提供するGPS端末をネット上でレンタル提供するサービス。                  アプリではなくインターネットブラウザを使用して位置情報を確認するため、携帯電話・スマートフォン・パソコン問わず利用可能。                  GPS電波とFOMA回線を併用して位置検索するため、日本全体のカバー率が高く圏外になりにくいという特徴を持つ（2020年度よりLTE化）。                  位置情報の確認には、ゼンリンマップを採用。                  手動での位置情報検索に加え、指定の時間になると自動で位置情報を通知する機能や、指定範囲を出入りした際に通知する機能等がある。家族等が遠隔操作により、端末のブザーを鳴らすことも可能。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPS</li> <li>重さ 30g</li> <li>高 4.5cm、幅 3.8cm、厚 1.2cm</li> <li>最長待受 400時間（オプション使用時）</li> <li>GPS電波、もしくはNTTドコモ電波圏内であればどこでも使用可能（日本国内のみ）</li> <li>アプリではなくインターネットブラウザを使用して検索</li> </ul>	初期費用	・初期費用等はなし
		運用費用	・レンタルする日数により変動 レンタル例) 60日間 12,800円(税込) 90日間 15,800円(税込)
		その他	・GPSがセットできるシューズ 9,800円 ※レンタルではなく販売
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPSにより現在の位置情報を把握。</li> <li>過去の検索履歴は一覧で確認できる。</li> <li>手動での位置情報検索に加え、指定の時間になると自動で位置情報を通知する機能や、指定範囲を出入りした際に通知する機能等がある。家族等が遠隔操作により、端末のブザーを鳴らすことも可能。</li> </ul>		
範囲	NTTドコモFOMA圏内	-	-
その他サービス	-	-	-

## 特徴・サービス内容

### GPS端末（小型タイプ）

※大容量バッテリータイプも有



### シューズ（オプション）



### 検索結果画面



### お子様、高齢者向け携帯しやすいグッズ

※バッグへの取り付けや首にかける用のグッズ



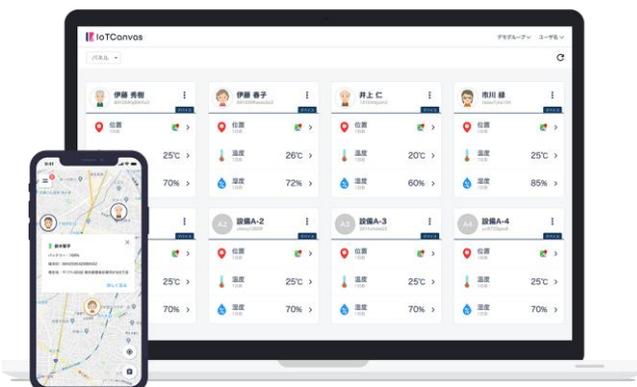
# No.23 IoTBASE株式会社「IoTCanvas」

## システム概要

事業者名	IoTBASE株式会社		
名称	「IoTCanvas」	URL	https://iotbase.co.jp/
概要	<p>LPWA回線を用いて、GPS・温湿度・ドア開閉・人感など多様かつ複数のセンサー端末と接続し、人や環境の状況を統合的に管理できるクラウドサービスを提供している。回線・センサー共に複数のラインナップを持ち、顧客の通信環境やニーズに合わせて柔軟に対応することができる。</p> <p>GPS端末と接続することで、高齢者の外出時の見守りに活用可能である。GPS端末などのセンサー自体も提供しており、端末～アプリまで見守りのインフラをパッケージで提供することができる。</p> <p>外出見守りに関しては、現在地・移動履歴の確認、エリア通知(設定エリアからの出入り時の通知)、バッテリー残量が少なくなった際の通知、通知を送信する時間帯の設定、などの機能を持つ。端末の機能に依存するが、位置情報の強制取得などの指示を端末に対して送ることも可能である。</p> <p>家族等は、スマートフォンアプリもしくはPCのウェブブラウザから端末の現在地等を確認できる。端末を複数まとめて閲覧・シェアする管理者向け機能も搭載しているため、有事の際には近隣自治体や捜索支援者と協力体制をとることが可能。複数の自治体と、高齢者の見守り・位置情報把握に関する実証実験を実施している。</p>		
仕様	<p>○GPS端末(主に紹介している端末の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイズ: 約83×49×13.8mm</li> <li>重量: 約63g</li> <li>充電: 1週間に1度程度</li> </ul> <p>○通信回線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Sigfox、LoRaWAN、ZETA、ELTRES、LTE-M、などのLPWA回線にマルチ対応</li> </ul>	初期費用	端末費用: 8,000~13,000円 (端末種類による)
		運用費用	利用料: 端末一つあたり980円/月
		その他	(詳細は要問合せ)
機能	位置把握	捜索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在地・移動履歴の確認</li> <li>エリア通知(設定エリアからの出入り時の通知)</li> <li>バッテリー残量が少なくなった際の通知</li> <li>通知を送信する時間帯の設定、等</li> </ul>	有事の際にのみ、URLとログインIDを共有するだけで捜索支援者向けの専用グループを作成可能	-
範囲	NTTドコモ3G回線の届くエリア(国内) ※主に紹介しているGPS端末の場合		
その他サービス	-		

## 特徴・サービス内容

### 【製品イメージ】



- ✓ LPWA回線を用いて、GPS・温湿度・ドア開閉・人感など多様かつ複数のセンサーを統合運用可能

## 自治体導入実績

### 【事例① 福岡県福岡市】※実証実験の事例

- ✓ 2018年4月に福岡市と協定を締結。
- ✓ 市内全域において、認知症により行方不明になる恐れがある人の早期発見を行うシステムの有効性を検証する実証実験を実施。
- ✓ 協力者100名がLoRaWAN対応GPS端末を所持して最大半年間日常生活を送る。協力者の家族に見守り捜索クラウドサービスのアカウントを発行し、規定したタイミングおよび協力者の位置を確認したい時に位置情報を取得。

### 【事例② 静岡県藤枝市】※実証実験の事例

- ✓ 2018年9月から藤沢市とLPWAを活用した「高齢者見守りサービス実証実験」を実施。
- ✓ 電波特性の異なる複数のLPWA規格を活用し、その有効性を検証する国内初の取組み。
- ✓ バンド型やシューズ型等、さまざまな形状の端末(6種類)を活用し、携帯利便性を確認。個別に指定したエリアへの出入通知機能で、家からの外出等を検知。

# No.24 MAMORIO株式会社 「Me-MAMORIO」

## システム概要

事業者名	MAMORIO株式会社		
名称	「Me-MAMORIO」	URL	<a href="https://mamorio.jp/">https://mamorio.jp/</a>
概要	「Me-MAMORIO」を携帯した認知症の方や高齢者が、アプリケーションをインストールしたスマートフォンを持つ地域住民、または駅などに設置された固定受信装置(MAMORIO SPOT)に近づくと、スマートフォンや受信装置が「Me-MAMORIO」を検知し、スマートフォンや受信装置の位置情報が自動的にサーバーに送信される。家族等は、位置情報をスマートフォンで確認できる。現在の位置情報だけでなく、過去10件の履歴を確認可能。 「Me-MAMORIO」は、軽量の丸いボタン形状で、認知症の方や高齢者が携帯しやすいように、上着や帽子に縫い付けたり、鞆や財布などに入れたりすることが可能。		
仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>Bluetooth機能付き専用端末を販売</li><li>重7g,直径37mm,厚み5.8mm</li><li>電源：リチウム電池（標準で1年間使用可能＝連続作動時間）</li><li>アプリはiOS及びAndroid™に対応</li></ul>	初期費用	・端末代 4,500円（1個）
		運用費用	・アプリ利用料は無料 ・MAMORIO SPOT 1台あたり月額4,800円
		その他	オプション有(連携システムの開発・保守・運用、保険関連)
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<ul style="list-style-type: none"><li>アプリを入れたスマートフォンや、MAMORIO SPOT が「Me-MAMORIO」を検知し、Bluetooth通信により位置情報が自動的にサーバーに送信される。</li><li>※アプリはBluetoothをオンにしておく必要有り。</li><li>・家族等は、アプリやPC画面上で現在位置を確認できる。</li><li>・現在の位置情報と過去10件の履歴を確認可能。</li></ul>	<p>弊社サービスからのお客様への連絡は実施なし。</p> <p>なお、地域の検索協力者の方へアプリ起動を依頼するメール配信サービスについては、各自自治体にて実施。</p>	専用の機能の用意はなし。タグに同梱されているシールを本体に添付することで確認することは可能。
範囲	有効距離(=探索範囲)：約30m	地域の検索協力ボランティア様	
その他サービス	使用者の急なケガや病気などのトラブルに備え、東京海上グループと提携し24時間電話受付の緊急医療相談や医療機関案内サービスなどを提供。		

## 特徴・サービス内容

### 【製品イメージ】



## 自治体導入実績

### 【事例①】青森県むつ市

- ✓ ICT活用認知症高齢者創作支援事業の一環として、「むつ市認知症SOSネットワーク」登録者のうち希望者に「Me-MAMORIO」を無償貸与(貸与料4500円を市が負担)。
- ✓ また、端末を用いた徘徊模擬訓練を実施。

### 【事例②】富山県富山市

- ✓ 富山市徘徊SOS緊急ダイヤル事業の登録者に対し、「Me-MAMORIO」を活用したICT活用認知症高齢者検索支援事業や認知症高齢者等おでかけあんしん損害保険事業を案内することにより、早期発見・早期保護・家族負担の軽減を目指す。
- ✓ 認知症サポーター養成講座参加者のアクションの一つとして、「Me-MAMORIO」アプリのダウンロードを呼び掛けており、認知症に関する啓発の一環としても活用。

# No.25 株式会社NTTドコモ 「かんたん位置情報サービス」

## システム概要

事業者名	株式会社NTTドコモ		
名称	かんたん位置情報サービス	URL	https://www.nttdocomo.co.jp/biz/service/kantanichi/
概要	<p>GPS端末により、認知症の方の居場所を確認できる位置情報確認クラウドサービスを、高齢者や子供の見守りサービスを提供したい法人に対してパッケージで提供。サーバーからアプリ、地図までをパッケージで提供するため、システム開発を必要とせずにGPSを用いた見守りサービスを提供できる。</p> <p>以下の二種のパッケージサービスを提供している。</p> <p>①標準プレートタイプ 位置検索、自己位置通知など、位置情報サービスを展開する上で必要な機能やWeb画面をワンパッケージで提供する。</p> <p>②WebAPI連携タイプ かんたん位置情報サービスのWebAPIを通じて取得した位置情報を活用し、用途に合わせた独自の機能や画面を法人顧客側で開発することが可能。</p> <p>家族等は、パソコン・スマートフォン・携帯電話から専用ホームページにアクセスすることで端末の現在地を確認できる。けがや病気など万一のときは、GPS端末のボタンを押すことで、登録済みのメールアドレスに位置情報を送信することができる。その他、振動を感知して通知する機能や、エリアの指定範囲外へGPS端末が持ち出された際に通知する機能等がある。GPS端末は、小型タイプ、防犯ブザータイプ、バッテリーレスタイプの三種類がある。</p>		
仕様	<p>○GPS端末(小型タイプの場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>縦45.5mm×横38.5mm×厚さ11.85mm</li> <li>重さ30g</li> <li>材質 プラスチック</li> <li>連続作動 400時間(平均実働3~4日程度)</li> <li>範囲はNTTドコモ3G回線の届くエリア(国内)</li> </ul>	初期費用	サーバへの設定費用、端末費用、契約事務手数料(詳細は要問合せ)
		運用費用	サービス利用料、通信料金(詳細は要問合せ)
		その他	(詳細は要問合せ)
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	<p>・GPSとドコモ3G回線を利用し、地図上で位置を把握することができる。</p> <p>・その他、振動を感知して通知する機能や、エリアの指定範囲外へ端末が持ち出された際に通知する機能、遠隔操作により端末からブザー音を発音することで検索をアシストする機能等がある。</p>	-	-
範囲	NTTドコモ3G回線の届くエリア(国内)	-	-
その他サービス	-		

## 特徴・サービス内容

【製品イメージ】※標準パッケージタイプの場合



## 自治体導入実績

【事例 北海道登別市】

- ✓ かねてよりSOSネットワークを運用していたが、山間部や沿岸部、当市から出た場合の検索は困難という課題意識から当社のサービスを導入。
- ✓ 住民から申請があった家族に無償でGPS端末を貸与。
- ✓ 行方不明事案が発生した場合、当初は家族等が当社のサービスを用いて位置情報を把握する。10分探しても見つからなかった場合や、山間部や他の自治などに移動していた場合は、家族等が警察や市役所に通報し、検索してもらう。

# No.26 株式会社otta 「otta」

## システム概要

事業者名	株式会社otta		
名称	otta	URL	https://www.otta.me/
概要	<p>小型・軽量の端末を使用したサービス。端末から常時電波を発信し、専用のアプリを入れたスマートフォンや事前に街中に設置された見守り基地局が、街ですれ違った端末をBluetooth通信で感知し、携帯電話や見守り基地局のGPSデータをサーバーに送信する。また全国26,000台の見守りタクシーとすれ違い時にも位置を記録。家族等はその位置情報・移動履歴をアプリやweb上で確認可能。GPS端末を使用したサービスと比較して、電池寿命や価格面で優れている。</p> <p>Bluetoothを使用して通信するため、スマートフォンで端末を感知するためにはBluetoothをオンしておく必要がある。</p> <p>現在、東京(渋谷区・千代田区・世田谷区・府中市エリア)、埼玉(春日部市エリア)、千葉(市川市エリア)、大阪(箕面市・四条畷市・交野市エリア)、広島(広島エリア)、福岡(福岡市早良区・福岡市東区・福岡市中央区・久山町エリア。2020年度中に福岡市全域に拡大予定)などでサービスを展開。見守りタクシーは全国30都道府県で運用中。</p>		
仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluetoothを使用</li> <li>アプリはiOS及びAndroid™に対応</li> <li>otta.w(ホイッスル型) 防水：IPX5</li> <li>otta.s(小型) 反射材、防水：IPX5</li> </ul>	料金	初期費用 ○小型端末の場合 ・端末料金 2,200円 ・送料 540円～ ※地域によって異なる
			運用費用 サービス利用料 400～500円 ※地域によって異なる
			その他 スマートフォンアプリは無料で利用可能
機能	位置把握	検索協力依頼・連絡支援	身元確認
	端末とアプリをインストールしたスマートフォンのBluetooth通信で、位置情報を把握可能。  範囲 上述の通り、サービスの展開エリアに限られており、そのエリアを中心とした見守り範囲となる。	-	-
その他サービス	-		

## 特徴・サービス内容

### 【携帯端末】



### 【家庭用見守りルーター】



### 【サービス利用イメージ】



## 自治体導入実績

### 【事例】大阪府箕面市

- ✓ 箕面市では、高齢者を対象に、ottaを利用した見守り事業を実施している。
- ✓ 市に申し込みがあった場合、3ヶ月間見守りサービスを試行できる。端末を無料で貸与すると共に、家族等が行方不明になった場合は、市役所に問い合わせることで無料で現在地を確認できる。
- ✓ 試行期間終了後は、端末の購入(2,200円～)および月額利用料(330円～/月)を個人的に支払うことで、継続的にサービスを利用可能である。